

工場拡張し、新加工体制整える

熊谷木材工業

熊谷木材工業（埼玉県熊谷市、飯塚秀司社長）のクマモクプレカットは工場を拡張し、さきごろ工場の建屋に柱加工機、横架材加工機の旧ラインからの設置替えに加え新規兼用機を導入、9月には特殊加工機の設置を行うなど、プレカット工場の新加工体制を整えた。

金物工法用、特殊加工機も導入

導入する兼用機は、もできる。また9月に

宮川工機のMPSⅠV X04で、金物（同社はカネシンのプレセッタ―に対応）工法用加工

る。

同社は昨年から工場を増築しており、工場の製造ラインの配置を見直している。増加す

新工場棟の新ライン

ADもトリアエンジニアリングに加え、宮川工機のシステムにも対応できるようにする。

飯塚社長は「当社はプレカット受注に対する要望が変化するなか、様々な加工能力を備えてきた。職人不足への対応や工期短縮を図るなかで、近年は合板、羽柄材もプレカットに対応、また今後非住宅案件が増えることを見据え、特殊加工機

今後、現

在の工場の中央部にあ

る合板加工機、羽柄材

加工機を移設し、新プレカット体制を完成す

の導入を図る。今後も選ばれるプレカット工場になるために、様々な加工能力向上を図る」と語る。

今回の新加工体制により、住宅需要への対応とともに、特殊加工機による加工スペースも確保していることか

らバランスの良いプレカット作業を進めていく。

また宮川工機のCADの導入により、他のプレカット工場と連携をとりやすくなり、大規模物件の受注にも協力して対応できるようになった。